

自己評価・外部評価 評価表

| | | | | | |
|------|----------------------------|---------|-----------|-----|--------------|
| 法人名 | 社会福祉法人 博愛福祉会 | 自己評価作成日 | 令和6年3月1日 | 担当者 | 河野 裕樹 |
| 事業所名 | それいゆ定期巡回・随時対応型 訪問介護看護別府 | 外部評価実施日 | 令和6年4月24日 | 連絡先 | 079-441-0102 |

| タイトル 番号 | タイトル | 項目 番号 | 項目 | 自己評価 | | | | コメント | 外部評価 コメント |
|------------------------------------|------------------------|----------|---|-----------|-----------------|-----------------|------------------|--|-----------------------------|
| | | | | 実施状況 | | | | | |
| | | | | できて いる | ほぼ できて いる | できていない ことが多い | 全く できて いない | | |
| I 構造評価(Structure) [適切な事業運営] | | | | | | | | | |
| (1) 理念の明確化 | | | | | | | | | |
| ① | サービスの特徴を踏 まえた理念の明確化 | 1 | 当該サービスの特徴である「利用者 等の在宅生活の継続」と「心身の機 能の維持回復」を実現するため、事 業所独自の理念を掲げている | 6 | 9 | | | 法人理念・指針は事務所に掲 げているが、事務所理念は閲 覧できるようにファイルに入っ ているので掲示した方が良いと の意見がありましたので改善し たいと思います。 | いつでも確認できる環境作りは いい事だと思います |
| (2) 適正な人材の育成 | | | | | | | | | |
| ① | 専門技術の向上のた めの取り組み | 2 | 管理者と職員は、当該サービスの 特徴および事業所の理念につい て、その内容を十分に認識している | 9 | 6 | | | サービスについてはよく理解が 出来ています。理念について は暗記できていない職員がい ました。 | 頑張ってください |
| | | 3 | 運営者は、専門技術(アセスメント、 随時対応時のオペレーターの判断 能力など)の向上のため、職員を育 成するための具体的な仕組みの構 築や、法人内外の研修を受ける機 会等を確保している | 9 | 6 | | | オペレーター、計画作成者等 へ法人研修、外部研修参加を 促しています。サービス対応技 術向上研修等へ参加していま す。 | 育成の取り組みがしっかりと出 来ていると思います |

| タイトル 番号 | タイトル | 項目 番号 | 項目 | 自己評価 | | | | コメント | 外部評価 コメント |
|-----------------------------------|---------------------------|----------|--|-----------|-----------------|-----------------|------------------|--|--|
| | | | | 実施状況 | | | | | |
| | | | | できて いる | ほぼ できて いる | できていない ことが多い | 全く できて いない | | |
| I 構造評価(Structure)【適切な事業運営】 | | | | | | | | | |
| (2) 適正な人材の育成 | | | | | | | | | |
| ① | 専門技術の向上のための取り組み | 4 | 管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している | 12 | 3 | | | 契約により従事する時間が限られており、十分に自己の能力が発揮できていないと感じている職員もいるようです。 | 適材適所でいい取り組みだと思います。決められた時間内でも個人が納得できるような対応が出来ればいいと思います。 |
| ② | 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保 | 5 | 介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている | 10 | 5 | | | 電話・連絡ノート・ICT(訪問介護電子記録の閲覧)を通じてやり取りをしている。また、直接話し合う機会があるので対応できています。 | 連携が取れていると思います。 |
| (3) 適切な組織体制の構築 | | | | | | | | | |
| ① | 組織マネジメントの取り組み | 6 | 利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている | 13 | 2 | | | 業務シフトに関する不満等は無いが、急な休みが取りにくいとの意見がありました。 | ここに合わせた人材配置が出来るのはとても大切だと思います。 |
| ② | 介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映 | 7 | を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている | 9 | 6 | | | 令和5年度は8月と2月に介護・医療連携推進会議に参加させていただきました。ご意見・ご助言を頂きサービスの向上に勤めております。 | |

15

9 6
9 6

| タイトル 番号 | タイトル | 項目 番号 | 項目 | 自己評価 | | | | コメント | 外部評価 コメント |
|-----------------------------|------------------------------|----------|--|-----------|-----------------|-----------------|------------------|--|---------------------------------|
| | | | | 実施状況 | | | | | |
| | | | | できて いる | ほぼ できて いる | できていない ことが多い | 全く できて いない | | |
| I 構造評価(Structure) [適切な事業運営] | | | | | | | | | |
| (4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備 | | | | | | | | | |
| ① | 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備 | 8 | 利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている | 13 | 2 | | | 出勤時に情報を取る事がほとんどで対応前に情報共有出来ているが、自身が休みの時には情報が取れないので迅速とは言い難いとの意見がありました。 | 必要時に迅速に対応できる体制が出来ていると思います。 |
| (5) 安全管理の徹底 | | | | | | | | | |
| ① | 職員の安全管理 | 9 | サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等) | 9 | 6 | | | 毎月の事業所内会議で周知されているとの意見が多かったです。 | 安全対策がしっかりされていれば、安心して業務出来ると思います。 |
| ② | 利用者等の個人情報の保護 | 10 | 事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている | 13 | 2 | | | 事業所内研修等もあり対応しています。 | このまま継続していただければと思います。 |

15

9 6
9 6

| タイトル 番号 | タイトル | 項目 番号 | 項目 | 自己評価 | | | | コメント | 外部評価 コメント |
|---------------------------------------|--|----------|---|-----------|-----------------|-----------------|------------------|-----------------------------------|-------------------------------|
| | | | | 実施状況 | | | | | |
| | | | | できて いる | ほぼ できて いる | できていない ことが多い | 全く できて いない | | |
| II 過程評価(Process) | | | | | | | | | |
| 1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 | | | | | | | | | |
| (1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成 | | | | | | | | | |
| ① | 利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施 | 11 | 利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている | 11 | 4 | | | 利用者様のももとの生活リズムを軸に計画提案しています。 | 細やかな状況に合わせたアセスメントが出来ていると思います。 |
| | | 12 | 介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている | 12 | 3 | | | 連携看護ステーションに聞き取りをしてアセスメントを実施しています。 | 細やかな状況に合わせたアセスメントが出来ていると思います。 |
| ② | 利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成 | 13 | 利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている | 9 | 3 | | | 本人様、家族様の意向もくみ取った介護計画を心がけています。 | 細やかな状況に合わせたアセスメントが出来ていると思います。 |

15

9 6
9 6

| タイトル 番号 | タイトル | 項目 番号 | 項目 | 自己評価 | | | | コメント | 外部評価 コメント |
|---------------------------------------|---|----------|--|-----------|-----------------|-----------------|------------------|---|---|
| | | | | 実施状況 | | | | | |
| | | | | できて いる | ほぼ できて いる | できていない ことが多い | 全く できて いない | | |
| II 過程評価(Process) | | | | | | | | | |
| 1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 | | | | | | | | | |
| (1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成 | | | | | | | | | |
| ② | 利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成 | 14 | 重度化しても医療依存度を高め過ぎないよう、利用者等の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている | 6 | 9 | | | 必要な場合は主治医に意見を求め状況把握に努めています。終末期等の介護計画では未来志向型の計画作成が必ず出来ているとは言い難いです。 | 医療依存度が高すぎるとはどのような状況か知りたいです。過度な医療より本人が望む医療が必要だと思います。 |
| (2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し | | | | | | | | | |
| ① | 計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供 | 15 | 計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている | 13 | 2 | | | 体調不良時等の訪問予定の変更では随時訪問等に対応させていただいています。また、状況の変化に合わせて訪問日時を変更するなど担当者会議を通じた計画の変更等を行っています。 | 細やかな観察により適切な対応が出来ていると思います。 |
| ② | 継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映 | 16 | サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている | 12 | 3 | | | 毎月のモニタリングにて短期目標の達成具合にて介護計画に反映させるよう心がけています。 | 細やかな観察により適切な対応が出来ていると思います。 |

15

9 6
9 6

| タイトル 番号 | タイトル | 項目 番号 | 項目 | 自己評価 | | | | コメント | 外部評価 コメント |
|-------------------------------------|------------------------------------|----------|---|-----------|-----------------|-----------------|------------------|--|---|
| | | | | 実施状況 | | | | | |
| | | | | できて いる | ほぼ できて いる | できていない ことが多い | 全く できて いない | | |
| II 過程評価(Process) | | | | | | | | | |
| 1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 | | | | | | | | | |
| (3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供 | | | | | | | | | |
| ① | 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供 | 17 | より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行われている | 14 | 1 | | | 連携型であり訪問看護ステーションと役割分担し適切にサービスを提供できるよう努めています。 | 相互に連携を取り、利用者様に適したサービスが取り入れられていると思います。 |
| ② | 看護職によるサービス提供に関する指導、助言 | 18 | 看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている | 14 | 1 | | | 連携連絡ノートや対面、電話等にて指導、助言、相談を行っています。 | 相互に連携を取り、利用者様に適したサービスが取り入れられていると思います。 |
| (4) 利用者等との情報及び意識の共有 | | | | | | | | | |
| ① | 利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供 | 19 | サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている | 10 | 5 | | | サービス導入前の説明や介護計画書の説明を行い、納得していただく事を心がけています。 | 利用者様が納得いくサービスが受けられるように十分な対策が出来ていると思います。 |

15

9 6
9 6

| タイトル 番号 | タイトル | 項目 番号 | 項目 | 自己評価 | | | | コメント | 外部評価 コメント |
|------------------------------------|---|----------|---|-----------|-----------------|-----------------|------------------|--|--------------------------------|
| | | | | 実施状況 | | | | | |
| | | | | できて いる | ほぼ できて いる | できていない ことが多い | 全く できて いない | | |
| II 過程評価 (Process) | | | | | | | | | |
| 1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 | | | | | | | | | |
| (4) 利用者等との情報及び意識の共有 | | | | | | | | | |
| ② | 利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供 | 20 | 作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている | 12 | 3 | | | 担当者会議等にて利用者様に説明を行い、共通認識を得られるよう努力しています。 | 利用者様や家族様への十分な報告が出来ていると思います。 |
| | | 21 | 利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている | 14 | 1 | | | 訪問介護記録等はICTにて閲覧が可能となっています。また、連絡ノートや電話にて報告・相談を行っています。 | 利用者様や家族様への十分な報告が出来ていると思います。 |
| 2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント | | | | | | | | | |
| (1) 共同ケアマネジメントの実践 | | | | | | | | | |
| ① | 利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案 | 22 | ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている | 14 | 1 | | | 担当ケアマネジャーと連携し報告、相談をして行っています。急ぎの場合は電話等で報告・連絡しています。 | 利用者様の状況変化に対して迅速な対応が出来ていると思います。 |
| | | 23 | 計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている | 9 | 6 | | | 必要に応じて提案を行っています。 | 利用者様の状況変化に対して迅速な対応が出来ていると思います。 |

9 6
9 6

| タイトル 番号 | タイトル | 項目 番号 | 項目 | 自己評価 | | | | コメント | 外部評価 コメント |
|---------------------------------------|--|----------|--|-----------|-----------------|-----------------|------------------|----------------------|-------------------------------------|
| | | | | 実施状況 | | | | | |
| | | | | できて いる | ほぼ できて いる | できていない ことが多い | 全く できて いない | | |
| II 過程評価(Process) | | | | | | | | | |
| 2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント | | | | | | | | | |
| (1) 共同ケアマネジメントの実践 | | | | | | | | | |
| ② | 定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供 | 24 | サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている | 11 | 4 | | | 担当者会議等にて情報共有を行っています。 | 多職種との連携が良くとれていると思います。 |
| (2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献 | | | | | | | | | |
| ① | 利用者の在宅生活の継続に必要となる、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討 | 25 | 利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目) | | | | | | 安心・安全に在宅生活が継続できるようサポートが充実していると思います。 |
| | | 26 | 病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目) | | | | | | 安心・安全に在宅生活が継続できるようサポートが充実していると思います。 |

15

9 6
9 6

| タイトル 番号 | タイトル | 項目 番号 | 項目 | 自己評価 | | | | コメント | 外部評価 コメント |
|---------------------------------------|---|----------|--|-----------|-----------------|-----------------|------------------|--|--|
| | | | | 実施状況 | | | | | |
| | | | | できて いる | ほぼ できて いる | できていない ことが多い | 全く できて いない | | |
| II 過程評価(Process) | | | | | | | | | |
| 2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント | | | | | | | | | |
| (2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献 | | | | | | | | | |
| ② | 多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案 | 27 | 地域における利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている (※任意評価項目) | | | | | | 多職種との連携もしっかりと取れているようなので、利用者様に最適なサービス提供できるように思います。 |
| 3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 | | | | | | | | | |
| (1) 地域への積極的な情報発信及び提案 | | | | | | | | | |
| ① | 介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信 | 28 | 介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている | 4 | 11 | | | 事務所にファイリングして閲覧できるようにしております。 | 閲覧できることを周知されている方はどのくらいの範囲でしょうか。 |
| | | 29 | 当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている | 2 | 13 | | | ホームページ等も活用して広報周知に努めています。地域への積極的な広報に関しては弱いと感じている意見もありました。 | 全ての人がホームページで周知するのはまだ難しいと思いますので、地域の高齢者の方が周知できる方法を考えて頂きたい。 |

15

9 6
9 6

| タイトル 番号 | タイトル | 項目 番号 | 項目 | 自己評価 | | | | コメント | 外部評価 コメント |
|----------------------------------|------------------------------------|----------|---|-----------|-----------------|-----------------|------------------|---|------------------------------|
| | | | | 実施状況 | | | | | |
| | | | | できて いる | ほぼ できて いる | できていない ことが多い | 全く できて いない | | |
| II 過程評価(Process) | | | | | | | | | |
| 3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 | | | | | | | | | |
| (2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画 | | | | | | | | | |
| ① | 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解 | 30 | 行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している | 13 | 2 | | | 理解に努めています。 | 不明な点は行政に確認して理解することも必要だと思います。 |
| ② | サービス提供における、地域への展開 | 31 | サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている | 2 | 13 | | | 提供地域は加古川全域を志向していますが、随時対応等を考慮すると自動車片道20分圏内になるので広く展開することに課題があるとの意見がありました。 | 現実問題を考えるとその通りだと思います。 |
| ③ | 安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等 | 32 | 当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている (※任意評価項目) | | | | | | |

15

9 6
9 6

| タイトル 番号 | タイトル | 項目 番号 | 項目 | 自己評価 | | | | コメント | 外部評価 コメント |
|------------------------|----------------|----------|---|-----------|-----------------|-----------------|------------------|---|-----------------------------------|
| | | | | 実施状況 | | | | | |
| | | | | できて いる | ほぼ できて いる | できていない ことが多い | 全く できて いない | | |
| Ⅲ 結果評価(Outcome) | | | | | | | | | |
| ① | サービス導入後の利用者の変化 | 33 | サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている | 14 | 1 | | | 毎月のモニタリング記録にて評価しています。 | 個々のサービスに対応できている事が分かりました。 |
| ② | 在宅生活の継続に対する安心感 | 34 | サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている | 9 | 6 | | | 利用者、家族との介護相談や利用者満足度アンケート等にて状況把握に努めています。1日でも長く自宅で過ごしてもらいたいとの意見が多かったです。 | 利用者様、家族様の希望に近いサービス提供が出来ていると思いました。 |

15

9 6
9 6